

発行挨拶	1
オンライン授業特集	1
授業の在り方をインストラクショナル・デザインの観点から考える	1
オンライン授業で使用する際のLUNAのTips	3
学修行動と授業に関する調査実施報告(春学期)とお願い	6
LUNA講習会・利用実績	8

### ＝第19号発行にあたって＝

2020年度最初のニューズレターをお届けします。

巻頭特集は「オンライン授業特集」です。「オンライン授業における授業デザイン」と「オンライン授業で使用する際のLUNAのTips」の二本立てです。今年度は感染症の拡大によりキャンパスの封鎖を余儀なくされ、授業の休講はもとより、入学式から課外活動まで数多くの学生活動も制限されました。そして教学面においては、多くの教職員にとって初めての経験となったオンライン授業が実施され、送り手となる教員も受け手となる学生も、皆初めてのことに試行錯誤しながら手探りで学期を進めていきました。今回の特集を通じて少しでも読者の皆さんの知見が広がるお役に立ちましたら、編集部一同幸いです。

後半は学修行動と授業に関する調査についての2020年度春学期調査結果の報告です。さらに巻頭特集に加え、LUNA講習会に関する実施報告も掲載しています。LUNA講習会については後期もさらに充実した講習会を開催する予定です。ご興味のある方はぜひご参加ください。

高等教育推進センター副長(高等教育推進センターニューズレター編集長) 江原 昭博

### オンライン授業特集

## 授業の在り方をインストラクショナル・デザインの観点から考える

新型コロナウイルス感染拡大を防止するために、オンライン授業や対面授業と組み合わせたハイブリッド型授業(Blendedと呼ぶ大学もあります)をどのように実践すべきなのか、様々なところで議論がなされています。

この議論に正解はないと思いますが、本稿では「インストラクショナル・デザイン」の観点から日々の授業を捉え、授業の準備や実践の際の留意点を整理したいと思います。尚、オンライン授業・ハイブリッド型授業はそれぞれ形式が異なりますが、紙面の都合上ここではどちらも「授業」として捉え、授業形式による留意点の違いについては特に論じません。

インストラクショナル・デザイン(Instructional Design: 以下、ID)とは、「教育活動の効果・効率・魅力を高めるための手法を集大成したモデルや研究分野、またはそれらを応用して学習支援環境を実現するプロセスのこと」を意味します(鈴木 2005)。やや広義な意味を持ちますが、授業者が授業の効果・効率・魅力を高めるために、どのように授業そのものをデザインすれば良いのかを考える研究領域だと言えます。IDでは、教育活動を「教育の目標、教育の内容、評価方法」の3つの観点から捉え、より効果的な授業を目指した改善に取り組みます(図1)。実際に、本学のシラバスにもこれら3つの項目が含まれていることが分かります。それでは、オンライン授業・ハイブリッド型授業における留意点にはどのようなものが挙げられるのかを考えてみます。

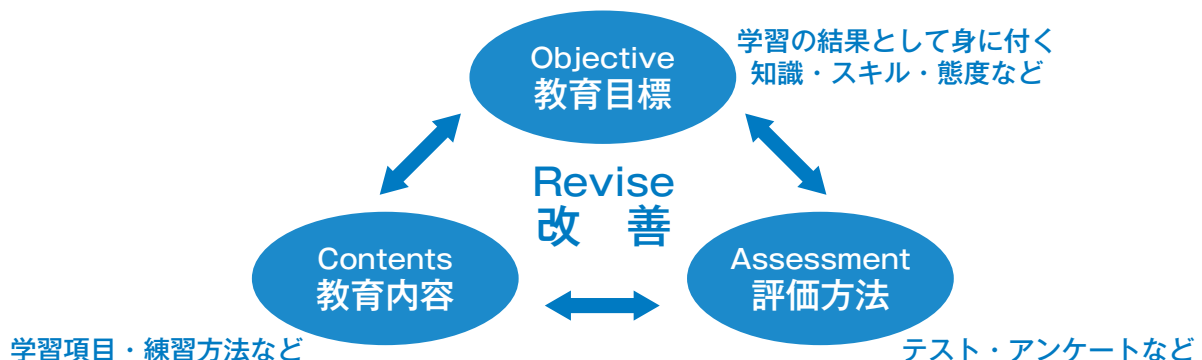


図1 IDの三要素(鈴木 2008 P45)

### (1) 教育目標 (Objective)

従来の教育目標は対面での授業を前提に「受講生が何をできるようになれば良いのか」を到達目標で示してきました。しかし、現在のように1学期間を通した対面授業が保証されていない中では、これまでの教育目標をそのままオンライン・ハイブリッドで行うことが困難になる可能性があります。教育内容(2:学習項目や練習の方法)が必然的に変わってしまうことも配慮しつつ、実現可能な教育目標を再検討する必要があります。

私は授業の改善を行う際には、教育目標を「知識・技術の理解」と「知識・技術の活用」「探究」の観点から捉えるようにしています。「知識・技術の理解」とは、受講生にどの程度の量と質の知識・技術の理解を求めるのかを意味します。知識と技術は明文化に適しています。具体的に、1学期間終了時に修得しておくべき知識や技術を箇条書きにすることで、授業改善の検討に役立ちます。「知識・技術の活用」は習得した基礎的な知識・技術を様々な場面で応用する機会を意味します。ここで言う応用とは、単に発展的な問題を解くという意味だけでなく、実際の社会で起こっている文脈に当てはめて考えるなど多様な意味を含みます。「探究」は、知識・技術の理解と活用を踏まえ受講生が独自に設定した問いに基づき学問的な学びを深めていくことを意味します。一つの授業の中でこれらの3つの項目全てをバランスよく扱う必要はありません。カリキュラムポリシーと照らし合わせながら、その授業における優先順位を決めることとなります。その授業で最も重視することを確認した上で、教育目標の再検討をするのはいかがでしょうか。

### (2) 教育内容 (Contents)

教育内容には、オンライン形式なのか対面形式なのかといった教育方法も含まれます。オンライン授業の中でも、動画や資料教材を作成し配信するオンデマンド形式は「知識・技術の習得」に適しています。教員による解説を、自分のペースでいつでも何度でも聞き返すことができるからです。記憶を目的とした「知識の活用」に関しても、発展的な問題を小テストなどで課し、効果的な学習を促すことが可能だと考えられます。しかし、「探究」となると、難易度が高まります。探究は、授業で学ぶ学問に対する受講生一人ひとりの知的関心・好奇心を引き出しつつ、時間をかけて進めていく学びです。学びを深めていくための手がかりは、当該領域の専門家である大学教員からのきめ細かなフィードバックや、同じ学問に興味をもつ受講生同士の議論になります。オンライン授業の場合はテレビ会議システムを使った同期型の個人指導や、オンライン掲示板を使った非同期型の個人指導の場を設ける必要があります。

大学での授業がオンラインに切り替わってから、多くの大学で受講生たちが授業について不満を感じるようになったことが、報道されるようになってきました。これは、単に資料の読み込みや動画の視聴を指示するだけでは、現代社会の受講生を深い学びへと誘うには不十分である可能性を示していると思います。受講生にとって大学教育を受ける最も大きな意義の一つは、書物や動画等から知識を得るだけでなく、専門家である大学教員から投げかけられる問いにより生じる揺さぶりや、他の受講生との議論など、一方向的な学びではなく双方向性を伴う学びだと考えることができます。双方向性の学びの在り方は多様であるため、学問分野によって適切な方法を選択する必要がありますが、いずれにしても「解説して終わり」「読ませて終わり」「記憶して終わり」だけでは、十分な学びへと繋げることが困難になるため、教育内容を工夫していく必要があるように思います。

### (3) 評価方法 (Assessment)

対面での授業実施が制限されることにより、従来行ってきたペーパーテストや実技テストが困難になりました。日々の授業での到達度を評価する(形成的評価)など、これまでとは異なる方法で1学期間を通した学びを評価する必要があります。

知識の記憶を問う評価方法に関しては、テストを受ける場所が受講生によって異なるため、「参照不可」の条件を設定するのは難しいように思います。各々が個別の場所で受験するのであれば、「参照可」の条件を前提に、活用や探究に繋がる問題へと変更するなど、工夫が必要です。また、ビデオ録画機能等を用いることで、一部の実技審査に関しては評価できる可能性が高まります。パフォーマンスをそれぞれ受講生が自分で撮影し(撮影の準備にかかる時間は十分に確保する必要があります)、その動画を審査対象とすることで、「授業を通してどこまでできるようになったのか」を評価することができます。ただし、新しい評価方法を取り入れたとしても、その評価方法が教育の目的・教育の内容と連動していなければ、1学期間の学びを適切に評価することができません。授業で学んでほしい内容とそのための方法、結果の評価方法の3つの観点から授業を捉える必要があります。

文責 高等教育推進センター 准教授 時任 隼平

#### 参考文献

- 鈴木克明 (2005) [総説] e-Learning 実践のためのインストラクショナル・デザイン. 日本教育工学会論文誌 29 (3) : 197-205  
鈴木克明 (2008) インストラクショナルデザインの基礎とは何か: 科学的な教え方への誘い. 消防研修第 84 号 : 52-69

# LUNA 外部サイト (Zoom、OneDrive) へのアクセスに関する Tips

LUNAにおいて、お知らせに掲載したZoom接続先のアドレスや「教材・課題・テスト」に掲載したOneDriveに保存している教材へ学生がOneクリックでアクセスできるようにする方法をご紹介します。

## ■ お知らせに掲載した Zoom アドレスをリンク設定する

① Zoom接続先アドレスを範囲選択します。

② 「リンクの挿入/編集」ボタンをクリック

③ 「リンクのパス」にZoom接続先アドレスをペーストし、「ターゲット」は「新しいウィンドウで開く」を選択して「挿入」をクリックします。

青字のアドレスをクリックするだけでリンク先へアクセスできます。

## ■ 「教材・課題・テスト」に教材の保存先を「URLリンク」で掲載する

① 「教材・課題・テスト」をクリックし、「コンテンツの構築」から「URLリンク」を選択します。

② 「名前」にタイトルを入力し、「URL」に教材を保存しているOneDriveのアドレスをペーストします。

タイトルをクリックすると、リンク先へアクセスできます。

## LUNA

## 成績管理に関する Tips

LUNAの成績管理の成績列は、初期設定では「合計列」を含め学生に自身のすべての成績列が表示される設定になっています。必要に応じて学生に表示させる成績列を設定する方法をご紹介します。

### ■ LUNA に入力した各レポートやテストの点数を学生に表示するが、合計列は非表示にする方法

**設定前の成績管理画面**

①「成績管理全体」をクリック

②列名の“▼”をクリック

採点情報が合算される「合計列」が学生に見えています。

③「列情報の編集」をクリックし、「この列を学生に表示」は「いいえ」を選択して画面右下の「送信」をクリックします。

**設定後の成績管理画面**

非表示アイコン“🚫”が表示され、「合計列」は学生の成績表画面には非表示になりました。

漢字氏名	カナ(英字)氏名	利用可否	加算合計	合計	第1回課題	第2回課題	第3回課題
ルナテスト 学生1	ルナテスト ガクセ	利用可能	..	17.00	8.00	9.00	..
ルナテスト 学生2	ルナテスト ガクセ	利用可能	..	5.00	..	..	..
ルナテスト 学生3	ルナテスト ガクセ	利用可能	..	17.00	..	..	..
関学 宇宙	カンガク ソラ(SOF)	利用可能	..	14.00	..	..	..
関学 華子	カンガク ハナコ(H)	利用可能	..	13.00	..	..	..
関学 沙弥香	カンガク サヤカ(S)	利用可能	..	15.00	..	..	..
関学 沙弥香	カンガク サヤカ(S)	利用可能	..	17.00	..	..	..
関学 沙弥香	カンガク サヤカ(S)	利用可能	..	16.00	..	..	..

### ■ 学生に課題（課題レポート）の点数を開示せずにフィードバックを返す方法

①「合計列」を非表示にします。

**設定前の成績管理画面**

初期設定では「フィードバック」と同時に点数も見えています。

②「成績管理全体」をクリック

③列名の“▼”をクリック

④「列情報の編集」をクリックし、「1次表示」は「完了/未完了」を、「2次表示」は「得点」を選択して画面右下の「送信」をクリックします。


**設定後の成績管理画面**

1次表示: 完了/未完了  
2次表示: 得点

漢字氏名	カナ(英字)氏名	利用可否	加算合計	合計	第1回課題	第2回課題	第3回課題
ルナテスト 学生1	ルナテスト ガクセ	利用可能	..	17.00	8.00	9.00	..
ルナテスト 学生2	ルナテスト ガクセ	利用可能	..	5.00	..	..	..
ルナテスト 学生3	ルナテスト ガクセ	利用可能	..	17.00	..	..	..
関学 宇宙	カンガク ソラ(SOF)	利用可能	..	14.00	..	..	..
関学 華子	カンガク ハナコ(H)	利用可能	..	13.00	..	..	..
関学 沙弥香	カンガク サヤカ(S)	利用可能	..	15.00	..	..	..
関学 沙弥香	カンガク サヤカ(S)	利用可能	..	17.00	..	..	..
関学 沙弥香	カンガク サヤカ(S)	利用可能	..	16.00	..	..	..

設定後の成績管理画面

可否	加重合計	合計	第1回課題	第2回課題
利用可能	--	17.00	✓(8.00)	✓(9.00)
		5.00	✓(5.00)	!
		17.00	✓(7.00)	✓(10.00)
		14.00	✓(6.00)	✓(8.00)
2020/07/01	利用可能	13.00	✓(5.00)	✓(8.00)

「非表示アイコン “

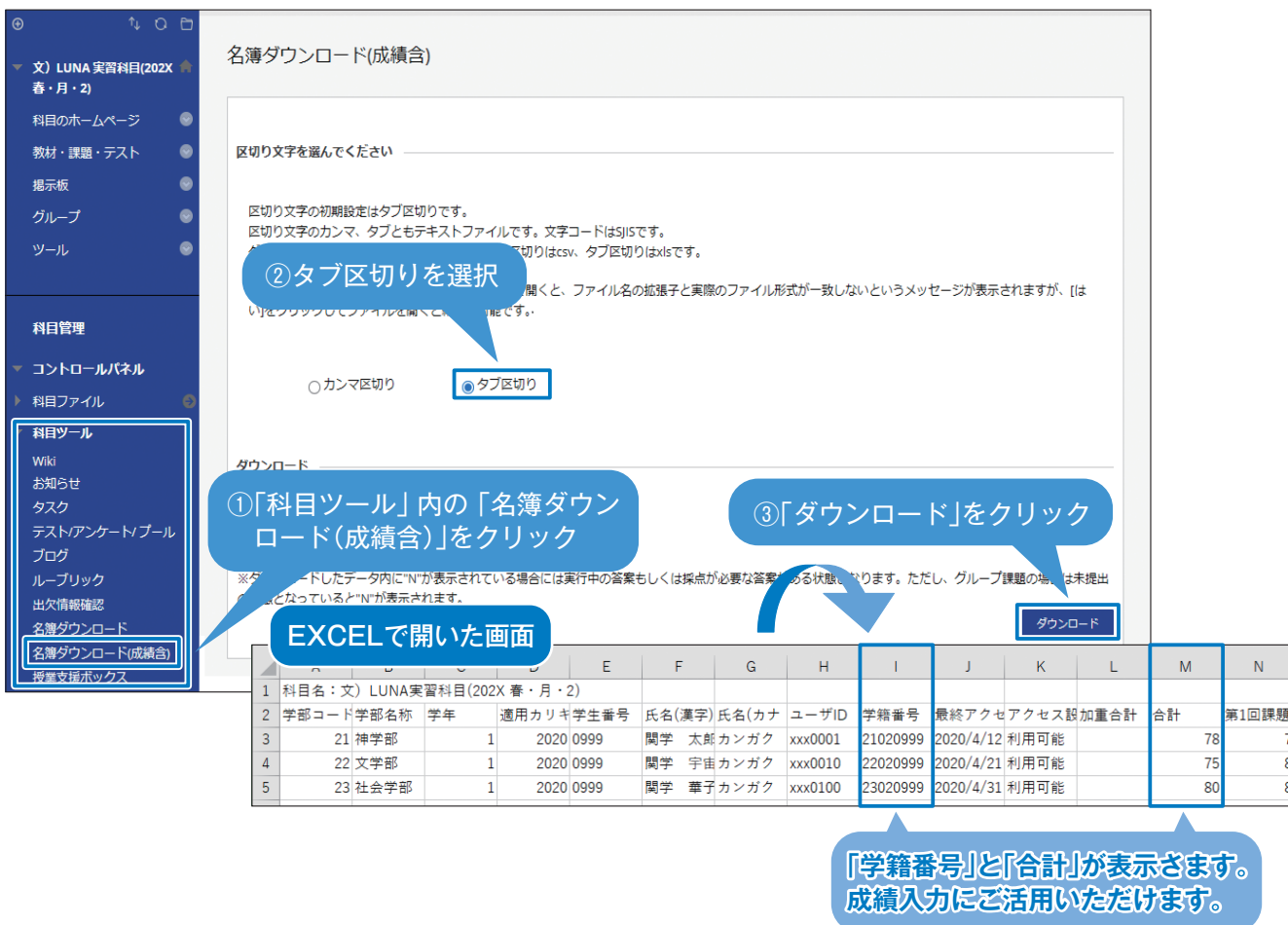
採点情報入力後の表示は学生の点数欄には数字ではなく“✓(完了アイコン)”が表示されます。教員の点数欄には“✓(点数)”と表示されます。

※「完了/未完了」を設定した成績列をダウンロードすると、「1次表示」に設定した「完了」という文字がダウンロードされます。ダウンロードの際は、設定を元に戻し成績列自体を「学生に非表示」にしてから行ってください。

LUNAにおいて、4月20日から利用を制限していた「名簿ダウンロード(成績含)」が9月16日よりご利用いただけるようになりました。LUNAに入力した採点情報が出席簿順に並んだ状態でダウンロードでき、「学籍番号」と「点数」が含まれています。ダウンロードしたデータは、EXCELで編集可能です。

■ LUNA に入力した成績を出席簿順でダウンロードする方法

※点数は「1次表示」の内容でダウンロードされます。



①「科目ツール」内の「名簿ダウンロード(成績含)」をクリック

②タブ区切りを選択

③「ダウンロード」をクリック

EXCELで開いた画面

「学籍番号」と「合計」が表示されます。成績入力にご活用いただけます。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
科目名	学部コード	学部名称	学年	適用カリキ学生番号	氏名(漢字)	氏名(カナ)	ユーザID	学籍番号	最終アクセス日	加重合計	合計	第1回課題			
文) LUNA実習科目(202X春・月・2)															
21	21	神学部	1	2020/0999	関学 太郎	カンガク	xxx0001	21020999	2020/4/12	利用可能	78	7			
22	22	文学部	1	2020/0999	関学 宇宙	カンガク	xxx0010	22020999	2020/4/21	利用可能	75	8			
23	23	社会学部	1	2020/0999	関学 華子	カンガク	xxx0100	23020999	2020/4/31	利用可能	80	8			

※ダウンロードされたファイルの拡張子は“xls”ですが、タブ区切りのテキストファイルがダウンロードされます。そのため、EXCELでファイルを開く際には「・・・ファイルの形式と拡張子が一致しません。・・・」といったメッセージが表示されますので「はい」を選択して開いてください。EXCELにインポートする場合は通常どおりに行えます。

## 2020年度春学期「学修行動と授業に関する調査」調査結果について

関西学院大学では、全学的なファカルティ・ディベロップメント活動の展開を目的として、2005年度から全学統一方式で「学修行動と授業に関する調査」(以下、授業調査)を行っています。授業調査の目的は、①学生自身による学修行動・成果の振り返り②寄せられた評価や意見をもとに、授業担当者が次年度以降の授業内容や方法の改善に取り組むこと③授業環境について組織的な改善に結びつけることです。今年度春学期は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため原則として春学期授業の全科目がオンラインで実施されました。

それに伴い、春学期の授業調査はオンライン授業に関する質問を追加し調査を行いました。その結果の一部をご紹介します。

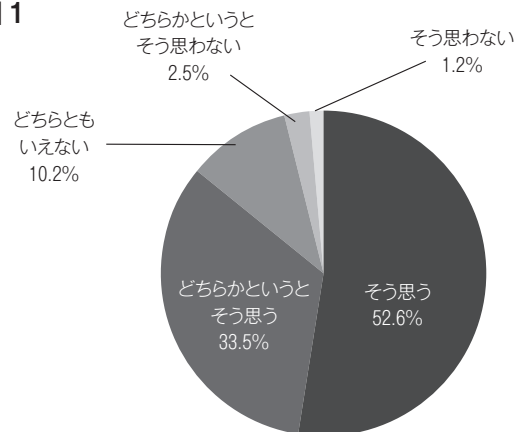
調査概要			
調査期間	2020年6月25日ー7月5日	対象科目数	4,063
調査方法	Web形式	調査実施科目数	3,630
対象者	学部生	実施率	89.34%
履修者総数	228,105	回答件数	53,819

## ■あなたは、この授業に積極的に取り組んだと思うか

授業への積極的な取り組みについての質問では、「そう思う」52.6%、「どちらかというと思う」33.5%、「どちらともいえない」10.2%、「どちらかというと思う」2.5%、「そう思わない」1.2%でした(図1)。

積極的に授業に取り組んだ(「そう思う」+「どちらかというと思う」と回答した学生は、86.1%でした。

図1

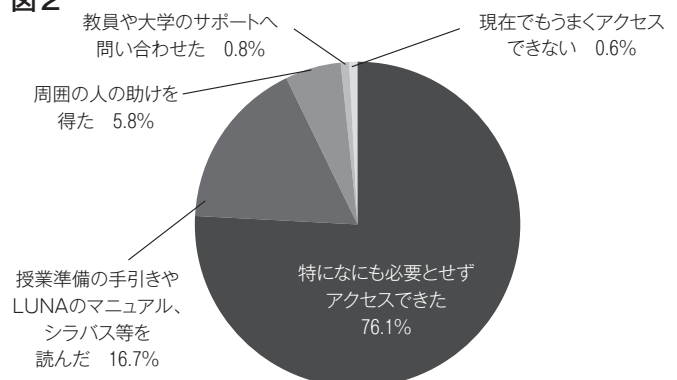


## ■授業で提供されたコンテンツ(講義資料、音声データ、動画など)にアクセスするために、どこまでする必要があったか

授業で提供されたコンテンツに自らアクセスできた学生(「特になにも必要とせずアクセスできた」+「授業準備の手引きやLUNAのマニュアル、シラバス等を読んだ」)は92.8%でした(図2)。

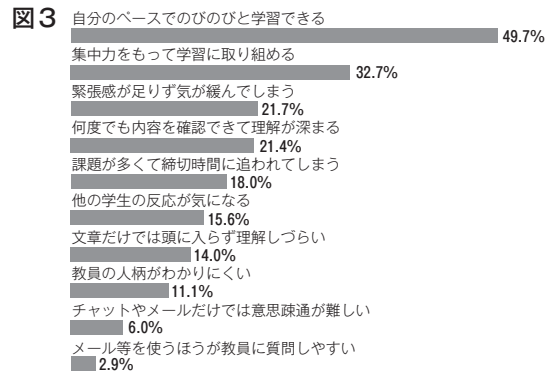
回答別にみると、「特になにも必要とせずアクセスできた」76.1%、「授業準備の手引きやLUNAのマニュアル、シラバス等を読んだ」16.7%、「周囲の人の助けを得た」5.8%、「教員や大学のサポートへ問い合わせた」0.8%、「現在でもうまくアクセスできない」0.6%でした。

図2



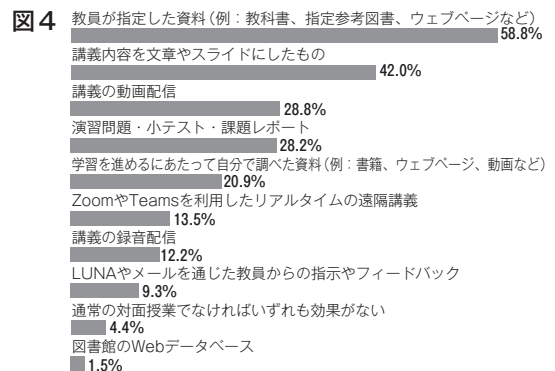
### ■この授業を自宅で受講することについてどう感じたか（複数回答可）

自宅での受講についての質問（図3）では、「自分のペースでのびのびと学習できる」49.7%、「集中力をもって学習に取り組める」32.7%、「緊張感が足りず気が緩んでしまう」21.7%、「何度でも内容を確認できて理解が深まる」21.4%、「課題が多くて締切時間に追われてしまう」18.0%、「他の学生の反応が気になる」15.6%、「文章だけでは頭に入らず理解しづらい」14.0%、「教員の人柄がわかりにくい」11.1%、「チャットやメールだけでは意思疎通が難しい」6.0%、「メール等を使うほうが教員に質問しやすい」2.9%でした。



### ■この授業で使用されたコンテンツやオンラインツールなどで、新しい知識（技能）や物事の見方を得るために役立ったもの（複数回答可）

知識の修得に関する質問（図4）では、「教員が指定した資料」58.8%、「講義内容を文章やスライドにしたもの」42.0%、「講義の動画配信」28.8%、「演習問題・小テスト・課題レポート」28.2%、「学習を進めるにあたって自分で調べた資料」20.9%、「ZoomやTeamsを利用したりリアルタイムの遠隔講義」13.5%、「講義の録音配信」12.2%、「LUNAやメールを通じた教員からの指示やフィードバック」9.3%、「通常の対面授業でなければいずれも効果がない」4.4%、「図書館のWebデータベース」1.5%でした。



### ■まとめ

授業調査結果から、86.1%の学生が積極的に授業に取り組み、92.8%の学生が授業で提供されたコンテンツにスムーズにアクセスできたことがわかりました。授業の自宅受講に関しては「自分のペースでのびのびと学習できる」「何度でも内容を確認できて理解が深まる」との回答がみられました。また、知識の修得には「教員が指定した資料」「講義内容を文章やスライドにしたもの」「講義の動画配信」「講義の録音配信」などのコンテンツが役に立ったという回答が多くありました。一方で、少数ですが「通常の対面授業でなければいずれも効果がない」という回答もありました。

秋学期の授業は、対面授業を再開しつつオンラインでの授業も継続しています。科目や学生・教員の環境や状況に応じて、オンラインと対面を組み合わせ合わせたハイブリッド授業も行われるケースもあります。昨年度までとは大幅に異なる授業形態の中、本学および学生の教育・環境改善につなぐため秋学期も授業調査を実施する予定です。

### 秋学期調査期間のお知らせ

2020年度春学期の授業調査は、すべてWeb方式で実施いたしました。学生への回答周知等ご協力いただきありがとうございました。

秋学期も引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

#### ◆秋学期の実施スケジュール

<Web方式>

2020年12月9日（水）～2021年1月12日（火）

※実施要領につきましては、11月下旬に各授業担当者にご連絡いたします。

## LUNAオンライン講習会

教員を対象として初心者向けのLUNAオンライン講習会を日本語と英語の各言語に分けて実施しました。これは、秋学期より初めてLUNAを使用するケースへの対応や、既に利用はしているが基本的な使い方を一通り確認できる機会を設けることがねらいです。これにより、多くの教員にとってLUNAへの理解を深めていただける機会となりました。

日本語と英語、それぞれの講習会の動画をLUNAトップページ右下の「イベント情報」に掲載していますので、LUNAをご利用いただける方であれば、どなたでもご覧いただけます。

また、機能別のLUNAオンライン講習会の開催を予定しています。決まり次第、LUNAトップページの「イベント情報」に掲出します。

[開催実績]

日本語 (計8回)

開催日：2020年9月7日(月)、8日(火)、14日(月)、15日(火)

開催時間：各日9:30～11:30、13:30～15:30

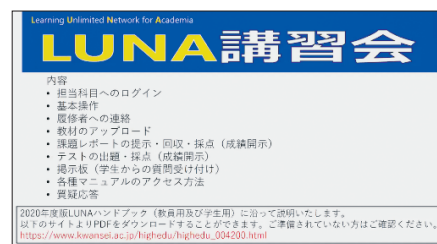
参加者数：計147名

英語 (計2回)

開催日時：2020年9月29日(火)10:30～12:30

2020年10月1日(木)13:00～15:00

参加者数：計8名



【動画 (日本語) の冒頭】



### ◆2019年度LUNAの利用実績

2019年度利用実績の集計は下表のとおりです。

指標項目	指標の定義	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
1 LMSを利用する授業科目の比率	全開講科目数(大学・当該年度)に対するLUNAを利用する科目の比率。(LUNAを利用するとは「お知らせ・教材・掲示板など」に教材や記事が掲載されている科目とする。)	12.2%	34.6%	35.7%	38.7%	40.4%	43.8%	47.6%	50.6%	54.7%	56.1%
2 LMSを利用する専任教員の比率	全専任教員に対するLUNAを利用する専任教員の比率。(LUNAを利用する専任教員とは「お知らせ・教材・掲示板など」を利用している科目がひとつでもあることとする。)	53.9%	59.4%	60.9%	69.8%	73.5%	76.2%	76.9%	80.0%	85.4%	88.4%
3 LMSを利用する学生の比率	LUNAにアクセスした学部学生数 ÷ 在籍学生数(学部) (1回でもLUNAのページにアクセスしたらカウントする。)	65.8%	85.9%	89.0%	92.0%	92.5%	92.3%	93.6%	94.3%	94.0%	94.9%

LUNAを利用する授業科目の比率は56.1% (前年比 +1.4%)、専任教員の利用率は88.4% (前年比 +3.0%) でした。また、学生の利用率においても学生94.9% (前年比 +0.9%) の結果となりました。

### ◆LUNAサポートでは以下のサービスを提供しています。ご利用ください

注) 新型コロナウイルス感染防止のため、※印のものは提供を控えさせていただいています。

- ◎電話・メールサポート …… 電話やメールにてお問い合わせをいただければ、サポートします
- ◎出張サポート(※) …… 研究室に直接訪問し、サポートします。個人、複数のいずれでも対応可能です
- ◎来室サポート …… 高等教育推進センター事務室に来室いただければ、その場でサポートします
- ◎授業サポート(※) …… 教員に代わりLUNAの操作方法のオリエンテーションをおこないます
- ◎研修会・講習会 …… 学期の始めに教員向け・学生向けの研修会・講習会をおこないます
- ◎ハンドブック …… 教員向け・学生向けを用意しています
- ◎オンラインマニュアル …… LUNA内に詳細なマニュアルを掲示しています

## 高等教育推進センターニュースレター 2020年11月1日

発行：関西学院大学高等教育推進センター

TEL：0798-54-7420 FAX：0798-54-7421

〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155

<https://www.kwansei.ac.jp/highedu/>

ご意見、ご感想、情報等をお寄せください。寄稿も歓迎いたします。✉ [HighEdu@kwansei.ac.jp](mailto:HighEdu@kwansei.ac.jp)